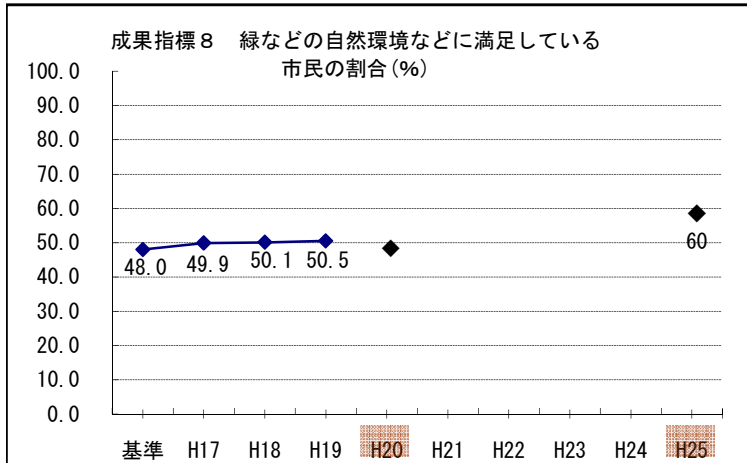


柱	2 生活環境
分野	E 自然
ビジョン	次世代につなげる生命（いのち）ある自然環境の保全



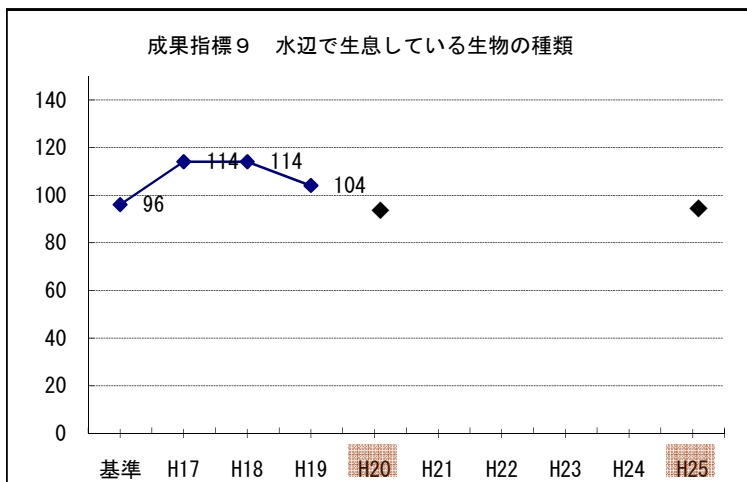
主な事業
 保全地区・保存樹木の指定
 松くい虫防除事業
 緑の基本計画等策定事業

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析

緑などの自然環境に満足している市民の割合は、20年度のめざそう値50%を達成しており順調である。職業別ではパート・アルバイト、主婦がめざそう値を超えているほかは低い数値となっている。学区別では、明倫・富木島・船島地区で高い数値となっているが、渡内・、横須賀・加木屋・三ツ池地区で低い数値となっている。男女別では男性より女性のほうが5%程度高い数値となっている。これは、時間に余裕のある方が自然に親しむ機会が多いものと思われる。



主な事業
 大田川等生物調査委託
 渡内川・中川クリーン作戦

計画通りに成果が上がっているか

目標達成
 順調
 順調でない

成果指標の分析

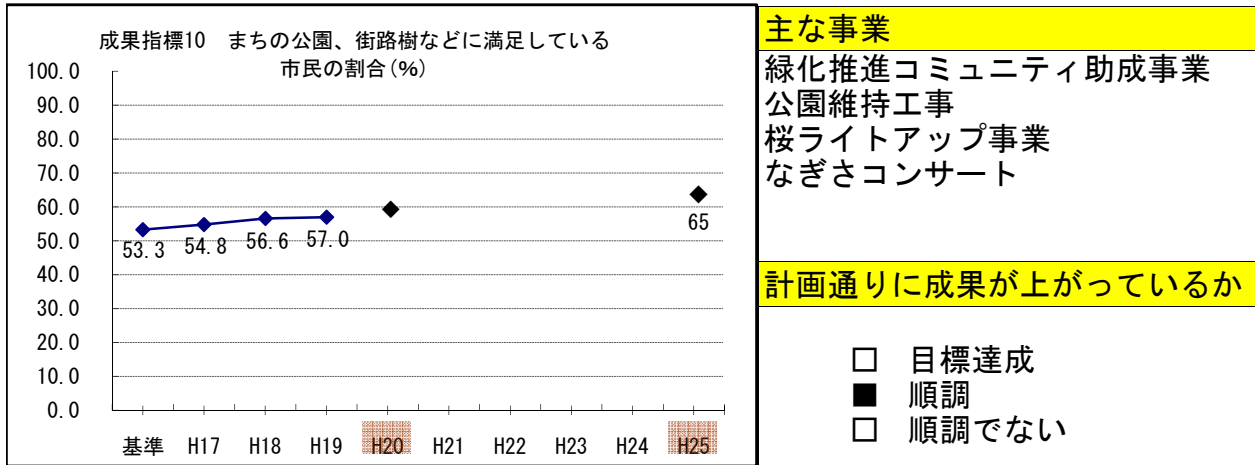
前年度より指標は10種類低下したが、めざそう値は達成している。原因は不明であるが、特に大田川中流域（加木屋橋）の水生昆虫が6種類減少している。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

保全地区・保存樹木指定事業、松くい虫防除事業を継続するとともに、民間開発等により減少傾向にある緑を極力保全するため、緑の基本計画に基づき加木屋緑地の整備・保全を行っていく。
 また、継続して生物調査、渡内川、中川等のクリーン作戦を行なっていくとともに、ソフト事業にも力を入れていく。

柱	2 生活環境
分野	F 公園・緑地・景観
ビジョン	花と緑あふれる心安らぐまちづくり



成果指標の分析

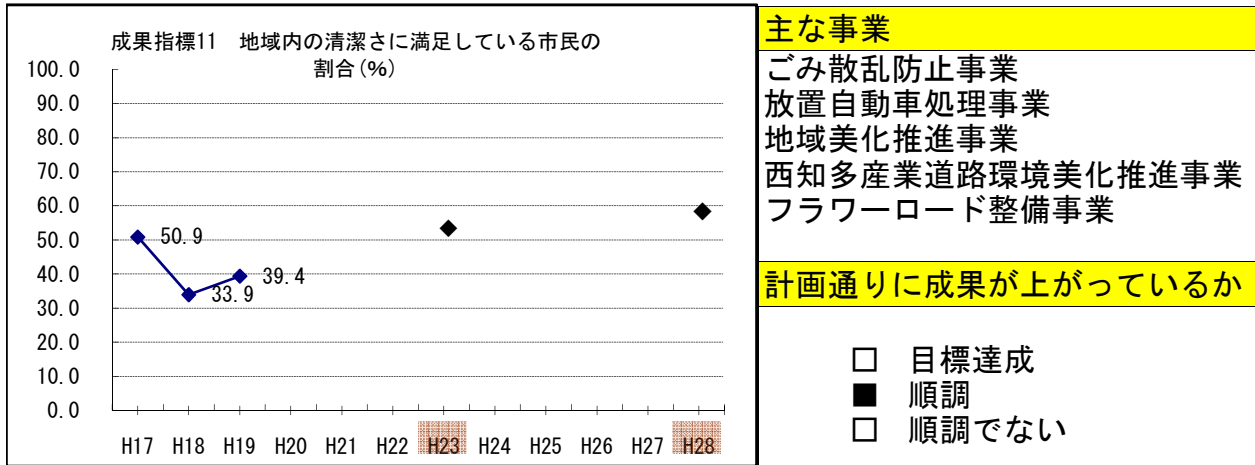
満足割合は、わずかではあるが年々増加傾向にある。年齢別では40～49歳でめざそう値を上回っているほかは、19年度の数値を数パーセント前後している。職業別ではパート・アルバイト・学生・主婦が平均値を上回っている。男女別では男性より女性の方が5%程度高い数値になっている。これは時間に余裕ある方が公園等を利用して満足度を高めているものと思われる。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

新設公園の整備や既設公園の改修、ワークショップによる公園の計画づくりにより市民のニーズにあった公園を造っていく。また、緑の骨格軸となる東海緑地の魅力アップを図るため、公園管理事務所の改築を行い、東海緑地の情報発信地としていく。今後は、公園の適正な配置や公園へのアクセス方法も考慮する必要がある。また、今まで以上に利用者のニーズを把握し、より親しまれる公園緑地づくりを進めていく。

柱	2 生活環境
分野	G 環境美化
ビジョン	道路も公園も自分の庭 めざそうポイ捨てゼロのまち



成果指標の分析

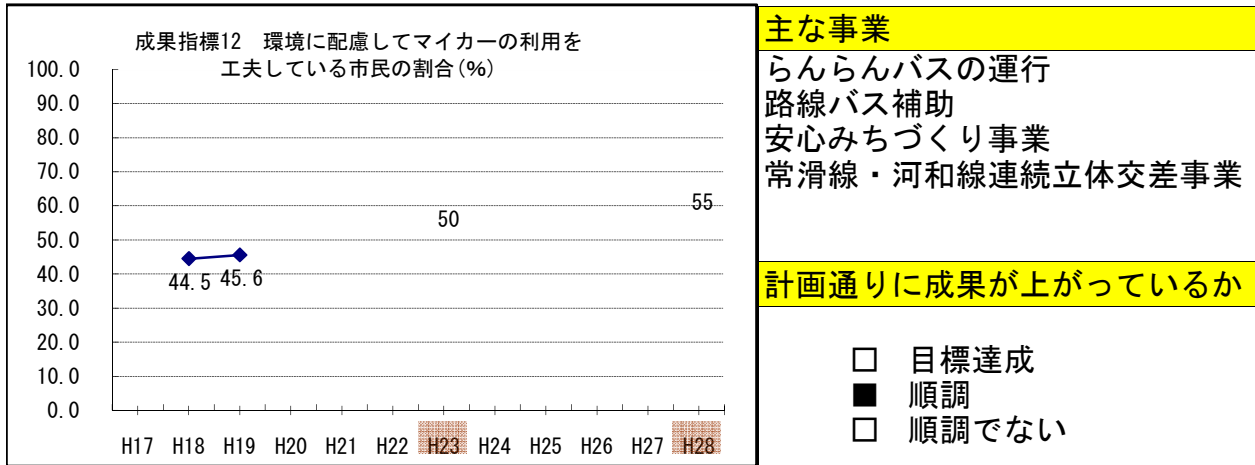
指標は、前年度より5.5%改善されたが、まだ、ごみのぽい捨てや不法投棄は、市内北部や産業道路で目立つ。

成果が向上する余地(可能性)は? 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

広報紙、パトロール等による環境美化意識向上のための啓発活動を行う。また、コミュニティ、町内会、西知多産業道路協議会等による環境美化活動、市による道路清掃を継続して行う。

柱	2 生活環境
分野	H 交通
ビジョン	環境に配慮した安心便利な交通システムの整備



成果指標の分析
前年度より指標は若干改善している。工夫している内容については、徒歩や自転車を利用してマイカーの使用を控えている人の割合とアイドリングストップをしている人の割合が特に高い。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針
らんらんバスの運行、路線バス補助、安心みちづくり事業、常滑線・河和線連続立体交差事業等を推進する。
また、エコドライブの啓発に努め自動車利用の工夫を促す